

2月参観日がはじまりました（2月1日）

2月1日（水）の1年生を皮切りに、2月参観日がスタートしました。参観者の人数制限や、入れ替わりをすることなく、一堂に会して子供たちの様子を観ていただく参観日は、久しぶりとなります。



自由に話し合ったり、自分の考えを伝えたりする姿とともに、仲間のお話に耳を傾ける姿勢も見えました、1年間で「学び方」をしっかりと身に付けてきた様子がうかがわれます。

懇談会では、1年間の子供たちの成長や、学校評価について話題にしています。

今後ともよろしくお願いたします。

「河川教育」優秀成果表彰校に選出されました

本校の「守ろう、豊かな釧路の水源（4年生）」を中心とする取組が、公益財団法人「河川財団」令和3年度河川基金助成事業において、「優秀成果表彰校」に選出されました。

2月4日（土）に、東京において「河川教育研究交流会」があり、本校教諭が取組を発表しました。



川や水には、環境・防災・地域の暮らしなど、子供たちが教科横断的に、学びを探究していくための要素が数多く含まれています。

本校では、阿寒湖畔自然体験活動を活用し、社会科「緑のダム」や理科「水の循環」など、教科との関連を図り、総合的な学習の時間における探究活動を軸としてカリキュラムを作成しています。今回は子供たちが、コンクリートのダムとは異なる「保水」や「洪水調節」の役割を、阿寒の大きな森が担っていることに気付き、実感していく過程を、特色ある活動として取り上げていただきました。

今後とも、「地域学」を軸とした魅力あるプロジェクトや「総合的な学習の時間」を目指して、各学年のカリキュラム作成にあたっていきたくと考えています。

